

株式会社Happy（所在地：兵庫県神戸市長田区二葉町1丁目1-8）

事業名

Happyユニバーサルカレッジ

事業の趣旨・目的

趣旨
阪神・淡路大震災からの復興という神戸の経験を活かし、地域社会全体の課題解決を目指す。障害者を含むすべての人が社会参加できる、インクルーシブな社会の実現を理念とする。

事業の目的
障害者の生涯にわたる学習機会と社会参加の促進。
多世代交流による世代間の相互理解と支え合いの文化を醸成。
地域コミュニティの活性化と、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現。
災害に強い地域づくりと、地域住民の防災意識の向上。

事業実施体制・連携先

株式会社Happy、株式会社KEGキャリア・アカデミー、神戸市看護大学、公益財団法人こうべ市民福祉振興協会、神戸市

主な対象

すべて/視覚/精神/知的/発達/肢体/内部障害/難病等/重度重複/

活動分野

しあわせの村を中心とし、神戸市内の共生社会に前向きな施設

事業内容

【事業の主要な要素】

障害者の生涯学習:

- ・ 専門家による多様な学習機会と体験活動の提供。
- ・ 学習、社会参加、就労支援の連携による継続的なサポート。

多世代交流:

- ・ 世代間の相互理解と支え合いを促進する交流機会の創出。
- ・ 地域活性化、子どもの社会性育成、高齢者の社会参加の促進。

社会参加:

- ・ 能力を発揮し役割を果たせる多様な参加機会の提供。
- ・ バリアフリー環境の整備と心理的・物理的障壁の除去。

居場所作りと仲間作り:

- ・ 安心できる居場所の提供と社会的つながりの構築。
- ・ 共通の興味や目標を持つ人々の交流と相互支援。

防災に関する学び:

- ・ 阪神・淡路大震災の経験と教訓の継承。
- ・ 地域防災力の向上と共助の精神の育成。

コミュニティレジリエンスの強化:

- ・ 災害時にも助け合える強靱な地域コミュニティの形成。
- ・ 株式会社Happyが運営する多世代交流型コミュニティレジリエンスの拠点を核とする。

【期待される効果】

- ・ 障害者の社会参加と自己実現の促進
- ・ 地域コミュニティの活性化と共生社会の実現。
- ・ 多世代交流を通じた相互理解と支え合いの深化。
- ・ 神戸市の先進的な取り組みとしての地域ブランド向上。
- ・ 参加者への良い影響、知的好奇心を刺激する学習機会の提供。
- ・ 阪神・淡路大震災の経験を活かし、地域防災力の向上に貢献。
- ・ 災害に強い新しい多世代交流の形の提示。

【事業の展開】

開発したプログラムの成果を全国に普及、活用。
多世代交流の拠点を地域へ公開することで、地域住民への貢献。

【その他特筆すべき点】

- ・ 阪神・淡路大震災からの復興という神戸の背景を活かした防災学習。
- ・ 多世代交流型コミュニティレジリエンスを核とした、災害に強い地域づくり。
- ・ 多様な関係機関との連携。

【連携と強み】

株式会社Happy:

多世代交流型コミュニティレジリエンスと就労支援事業所の運営実績。地域に根ざした活動と実践的なノウハウ。

神戸市看護大学:

専門的な知識と技術の提供、人材育成、研究評価。学生による多世代交流の促進。

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会:

総合的な福祉・レクリエーション施設の運営ノウハウ。広大な施設と充実した設備、地域における知名度と信頼性。

神戸市:

神戸市長田区の多世代交流・生涯学習の先進事例としての地域活性化。博物館や美術館などの神戸市内施設（バックヤード見学と施設説明など）との連携による、知的好奇心を刺激する学習機会の提供。阪神・淡路大震災から復興した神戸市長田区の強みを活かした防災に関する学び。

地域に移住したアーティスト:

創造的なプログラム開発、地域資源の活用、多様な交流創出。地域への活性化。

事業終了後の目指す方向性

学びを通じて多世代が交流し、結果として地域の防災意識も上がっていく共生型社会の啓発とロールモデルとなる事業を目指していく

その他

(株)Happy
-HP-



SUUMO
ジャーナル①



SUUMO
ジャーナル②



神戸新聞
next

